

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-3-3 国際化と多文化共生の推進
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課長 坂本 偉健	電話番号	0852-22-6006
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	しまね国際センターの支援		
目的	(1) 対象	公益財団法人しまね国際センター	
	(2) 意図	県民の国際理解や多文化共生や国際交流・協力などの実際の活動に直接的に関わる国際センターを支援し、より県民に身近で信頼感のある団体とする	
事業概要	県内の多文化共生等の推進を図るため、(公財)しまね国際センターに対して活動支援を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		31,000	32,000	33,000	34,000	
		(公財)しまね国際センターのホームページのアクセス数	実績値	31,513	36,009	37,007	31,284		件数
			達成率		116.20	115.60	94.80		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
			実績値	0.00	0.00				
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	24,500	24,514
うち一般財源(千円)	24,500	24,514

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

目的を達成するために、自主事業及び各種委託事業を実施した。今後、さらなるコスト削減や効果的な事業運営を行い、組織基盤の強化をしていく必要がある。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

県が(公財)しまね国際センターへの自主事業に対する支援、及び各種委託事業を行っていることにより、センターと県内の外国人支援団体との連携の深まりやセンター職員的能力・スキル向上が期待できる。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
専門人材の育成及び安定した運営資金の確保。
- ②困っている状況が発生している「原因」
主たる収益事業が無いため、財政基盤の強化を図ったことによる人員削減の実施をおこなったこと。
- ③原因を解消するための「課題」
運用資金の安全かつ安定した運用を図る。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

近年、人件費・事業費の縮減に加え、財産運用方法の見直しによる積極的な運用の実施、事務所移転による更なる経費節減に取り組んできたが、引き続き効率・効果的な事業の実施や経費の縮減など、継続的な経営努力をしていく必要がある。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状」→「6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状」→「7. まだ残っている課題」→「8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)